

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第325号
平成26年3月24日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木隆志

花を咲かせよう

校長 鈴木隆志

先月下旬から、春の訪れを告げる校庭の梅の花が咲き始めました。この梅の木は「平成記念植樹」で植えられたものです。梅の花に続いて、コブシの木も美しい白花を咲かせました。このコブシは、平成元年、本校の開校を記念して植えられた木です。そして、プロムナードの桜の木も、蕾を大きく膨らませ、まもなく爛漫の花を咲かせます。学校の花々は、光っ子たちを優しく包み込んでいます。

光っ子たち一人一人の胸には、どんな「心の花」が咲いているのでしょうか。笑顔の花、元気な花、やる気の花、目標の花、素直な心の花、勇気の花、優しさの花、思いやりの花、助け合う花、逞しさの花、自信の花、喜びの花、嬉しさの花、楽しさの花、感謝の花、友情の花、希望の花、憧れの花…。

光が丘第八小学校の平成25年度は、本日修了式を迎え、あとは卒業式を残すのみとなりました。今年度は、38名の6年生が巣立ちます。光八小では、学校・家庭・地域のみんなの力で光っ子たちみんなを、大切に育ててきました。この一年、光っ子たちはそれぞれに大きく成長をしました。でもそれは順風満帆というわけではありません。わがままな言動で迷惑をかけてしまった子もいました。失敗に涙を流す子もいました。失敗を恐れてあと一歩が踏み出せない子もいました。友達の言葉に心を傷つけられた子もいました。いさかいからすぐにかっとなってしまった子もいました。悩みを抱え心が重たくなってしまった子もいました。でも、みんなくじけずに壁を乗り越え、大きく成長をしています。それぞれに進級・進学するこの春は、光っ子たちにとっても大事な節目の時です。気持ちを新たに新年度を迎えられるよう、準備をしてほしいと願っています。

光っ子たち一人一人の胸に咲く「心の花」を大切に育ててまいります。一人一人の胸に「幸せの花」を咲かせることができるように、そして、八小らしさ、八小のよさをさらに伸ばしていけるように、学校も新体制でお待ちしています。新年度のキーワードは「包容」（広い心で相手を包み込み、受け入れること）です。今後とも御支援・御協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆4月はじめの予定

- 4月4日(金) 入学式準備 新6年生は登校 詳しくは学年便りで確認してください。
- 7日(月) 始業式、入学式 新2年生と新6年生以外は始業式終了後すぐに下校
- 8日(火) 集団登校①(～11日)、給食始(2～6年)、保健関係書類配布(2～6年)
- 9日(水) 集団登校②
- 10日(木) 集団登校③、保健関係書類提出、光っ子活動(光っ子班編成)、発育測定(3年、4年)、委員会活動
- 11日(金) 集団登校④、児童個人カード・引き取り人登録提出、避難訓練、発育測定(5年、6年)、保護者会(1年、2年、3年、わかば)
- 14日(月) 1年お迎え登校始、1年対面式、1年給食始
- 15日(火) 発育測定(わかば)、保護者会(4年、5年)
- 16日(水) 安全指導、発育測定(1年、2年)
- 17日(木) 音楽朝会、クラブ活動
- 18日(金) 内科検診(1年、2年、3年、わかば)